



エピソード

保育室で新聞紙の手作り玉入れを楽しんでいたさくら組ですが、本物の玉入れではなかなかひまわり組さんに勝てずにいました…。

初めはあまり勝敗にこだわらず、悔しそうにする姿も少ないように感じていましたが、1度『秘密の特訓』をした後、初めてひまわり組さんに勝つことが出来て大喜びしていました。しかし、その後はまた負けが続いてしまいました。

クラスみんなで「運動遊び参観で楽しみなこと、見てほしいこと」を話す時「玉入れて勝ってるところを見てほしい!」という声が出てきました。そこから、『秘密の特訓』を何度も頑張ってきました。

「手をしっかり伸ばす」「かごをよく見る」「取ったらすぐに投げる」「投げたらすぐに拾う」などをみんなで確認すると、日々入る玉の数が増えていき「今度、ひまわり組さんとしたら勝てるかも!」とどんどん自信をつけて張り切っている姿が見られるようになりました。当日は念願の2回勝つことができて、大喜びの子ども達でした!

保育者の思い

・初めは、玉入れを楽しんでいる姿を微笑ましく思っていたのですが、何度勝てなくてもあまり悔しそうではない姿に、少しもどかしさや焦りを感じていました。しかし、子ども達から「勝ちたい」「勝ってる姿を見てほしい」という思いを聞き、みんなて思いをひとつにして実現したいと強く感じました。

・『秘密の特訓』をする中で、どうすればたくさん玉が入るかをみんなで考えました。一人一人が一生懸命考えたことを友達に伝え、毎日「今日も秘密の特訓しよう」と言って繰り返し頑張る姿や、日に日に入る玉が多くなっていったことに驚いたとともに、この姿を保護者の方にもお知らせしたいと思いました。

子どもの育ちや学び

- ・「勝っている所を見てほしい」という思いをみんなで話し合いました。
- ・「勝ちたい」という気持ちに向かって諦めずに頑張りました。
- ・どうすると玉がたくさん入るか自分なりに考えたり、友達と一緒に考えたりしました。
- ・みんなで頑張って勝てたという経験を経て、様々な園生活での遊びや活動に意欲的に取り組むようになってきました。

家庭だったら・・・

- ・子ども達が興味をもっていることや挑戦してみたいことを話してみるのも良いかもしれません。
- ・「やってみたい」「頑張りたい」と思っていることに一緒に挑戦したり、できなくてもその頑張りを褒めたりするのもいいですね。